

(1) 争議團側

争議團ハ長期ノ斗争ニ依リ資金ノ缺乏ヲ来シタルヲ以テ行商ヲ開始シ一日約六七圓ノ利益ヲ得テ争議團ヲ維持シツ、アルカ事業主ノ態度意外ニ強硬ニシテ解決ノ曙光見エサルヨリ持久戦ヲ覚悟シ結束ヲ圖リ、ピラニエース撤等ヲ發行シテ文書ノ宣傳ヲ行ヒ一方同一系統ニアル小松川平井館、砂所三光館従業員ニ對シ應援方ヲ依頼セリ

(2) 平井館従業員ノ同情罷業

昭和館事業主渡栄吉ノ經營セル小松川平井館、砂所三光館従業員ハ昭和館争議ノ應援ヲ為スヘク寄々協議中ノ慶九月五日両館従業員ノ名ヲ以テ昭和館争議ノ即時解決以下六項ノ要求書ヲ提出スルト同時ニ平井館従業員五名ハ罷業ヲ決行セリ(九月七日労務第ニハ七三號改報参照)

(3) 事業主側

事業主ハ争議團ノ提出セル要求書ノ内容ニハ一切縮メス首謀者三名ノ解雇ヲ為スヘシト強硬ナル態度ヲ示シ米リタルカ昭和館三光館ノ欠損ナルニ及レ相當利益ヲ擧ケツ、アル前記平井館従業員ノ同情罷業ハ事業主ニトリ致命的打撃ナルヲ以テ九月十五日迄ニ責任ヲ以テ昭和館争議ヲ解決スヘシトノ言質ヲ與ヘ要求事項ヲ撤回就業セシメ爾來極力金策ニ奔走解決ニ焦慮中ナリ

二、交渉並ニ解決

本争議ハ叙上ノ経緯ニシテ相當長期ニ亘リタルヲ以テ所轄農戶署ニ於テ九月八日労資ノ各代表ヲ招致シ妥協方ニ付懇諭シ相當接近セシメタル結果翌九日午後三時ヨリ林下小松川所平井驛前境旅館ニ於テ

事業主側 渡 栄 吉
労働者側 中山 馨 以下六名